



中区のまちづくりの  
マスコットキャラクター  
「なかちゃん」

## 笑顔 いき活き まちづくり



写真① 園児をひざに抱っこして、一緒に読み聞かせを楽しむ小学生の姿も



写真② 森林に見立てた草木入りの土と普通の土に雨を降らせる実験中

コロナ禍でイベントや交流の機会が減っています。そうした中でも自分たちの住むまちを元気に、魅力的にするため、さまざまな形でまちづくり活動を行う人たちがいます。今回は4つの事例を紹介します。

園地域起こし推進課(☎504-2546、☎541-3835)

### 学校から広げる交流の輪

広瀬小学校は、近隣の保育園児に図書室を開放しています(上写真①)。これは、学校に地域の人が集う多世代交流活動の一環です。広瀬地区では、小学校と地域が一体となって子どもの豊かな育成と地域の活性化を目指す「広瀬コミュニティスクール」を発足し、登下校の見守りや花壇づくりなどを行っています。

同スクール会長の今村雅治さん(下写真)は「誰もが参加しやすい小学校を活動拠点にしました。将来の町の担い手である子どもたちの豊かな成長につながれば」とこの活動に期待します。



### 西国街道に かつてのにぎわいを

広島駅周辺から八丁堀、平和記念公園を通る「西国街道」の歴史と文化を生かしたにぎわいづくりを進める「ま

ちなか西国街道推進協議会」。毎年3月に「江戸時代ヘタイムトリップ」をテーマにしたイベント「西国茶やBar」を開催しています。

昨年はコロナ禍で延期になり、12月にオンラインで開催。歴史トークショーや風呂敷包み講座、尺八演奏などをインターネットで配信しました。



配信風景

事務局長の高山正さん(下写真)は「江戸時代、文化と交易の大動脈として栄えた『西国街道』のにぎわいを現代に伝えることで、広島の新たな魅力を発見してもらえれば」と語ります。



### 花壇を憩いの場に

広瀬地区社会福祉協議会は、広瀬北町公園で花壇づくりを行っています。



昨年10月、地域の皆さんが集まり花苗を植えました。街なかに住む子どもたちは土いじりの経験が少ないからか、楽しそうに作業をしていました。水やりは、メンバーのほかグラウンドゴルフで公園を訪れる人たちも協力しています。

同会の込山康さん(右写真)は「きれいな花壇が維持できているのは、地域の皆さんのおかげ。花のある公



園はみんなの憩いの場です」と話します。

### 学校ではできない体験を

吉島西一丁目町内会は、地域の子どもを対象とした体験講座「吉島探検・再発見隊」を開催しています。

この日のテーマは「木」。公園の木の高さを三角定規を使って測ったり(左写真)、災害時の森の役割を学ぶ実験をしました(上写真②)。子どもたちは「この木、9メートルもある！ 高い！」と計測結果にびっくり。

会長の野村良男さん(右写真)は「この講座の一番の目的は『本物に触れ、興味・関心を持つ』こと。自分たちの住む地域の良さを知り、愛着を持つきっかけになれば」と思いを語ります。



### まちづくりを 応援します！

区は、上の事例のような地域のまちづくり活動などに補助金を交付しています。事業の内容によって補助が異なるため、地域起こし推進課(☎☎上記)へお問い合わせください。「応募の手引き」は区役所、市ホームページで配布しています。

市HP ■ ページ番号でさがす

① 1457  
② 118713

事業名	補助の対象となる事業内容	締切
① 区の魅力と活力向上推進事業	区の定めたテーマに基づき、住民が自ら取り組むまちづくり活動	2/19(金) 必着
② 「まるごと元気」地域コミュニティ活性化補助事業	町内会などが地域を活動範囲として、新たに自主的・継続的に行う活動 A 地域活性化プランの作成 B 空き家などを活用した住民間の交流拠点づくり C 空き地を活用した菜園・花壇づくり D プラチナ世代・リタイア世代などの地域デビュー支援 E 交流拠点におけるネットスーパー利用の環境づくり F 住民勉強会の開催 G 他の地域などとの交流を図る活動の実施 H 子どもたちの思い出づくりの取り組み I その他地域の活性化に役立つ地域独自の取り組み	2/26(金) 必着

### ①の補助内容

補助年度	対象経費に対する補助率	補助限度額
初年度	3分の2以内	100万円
2年度	2分の1以内	70万円
3年度	3分の1以内	35万円

### ②の補助内容

活動	補助年度	対象経費に対する補助率	補助限度額
A・B	一括補助	全額	50万円
	初年度	全額	10万円
C~I	2年度	5分の4以内	8万円
	3年度	5分の3以内	6万円
	4年度	5分の2以内	4万円
	5年度	5分の1以内	2万円